



# 長門の話題

## Topics

リアル熟議inながと

### 子どもたちに必要な教育とは

1月15日(土)、「リアル熟議inながと」がルネッサながとで開催され、保護者や教員、地域住民ら約130人が参加しました。これは、家庭・学校・地域が協働し、長門市の特性を生かしてよりよい教育を進めていくことを目的に、長門地区小中高PTA・校長連絡協議会が県内で初めて開催し

たもので、文部科学省の鈴木寛副大臣も特別ゲストとして参加しました。熟議は6つのグループに分かれて行われ、「長門の子どもたちに必要な教育は？」というテーマに沿って問題点や解決策を話し合いました。最後に代表者が、グループの意見をまとめて発表しました。



▲グループに分かれて意見を出し合う参加者

▼グループでまとめた意見を発表する代表者

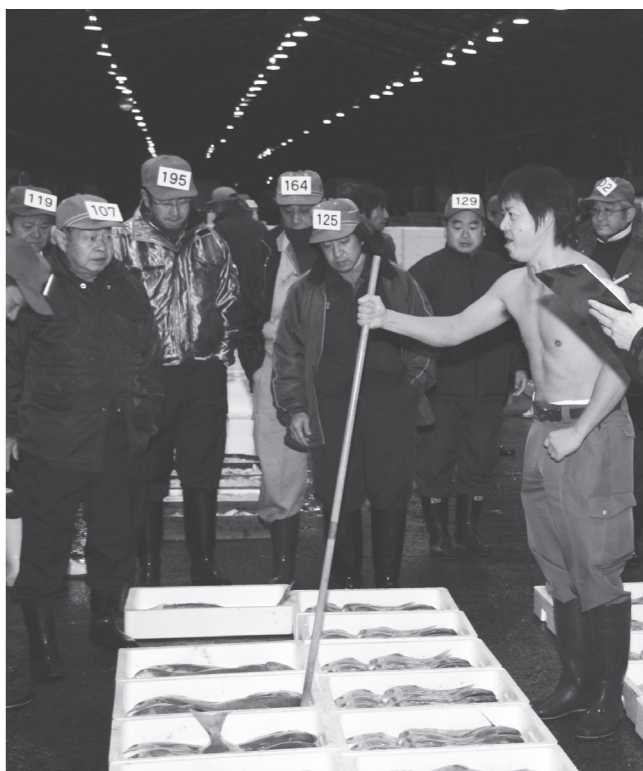


仙崎市場で初競り

### 威勢のいい競り声響く!

1月5日(水)、仙崎市場で初競り式が行われました。年明け最初の競りとなったこの日は、仲買人や漁業者など約100人が集まりました。午前1時半から始まった初競り式では、山口県漁協長門統括支店の津室喜久運営委員長が「今年には新市場の建設が始まりますが、仙崎市場も負けないよ

う販路拡大を目指します」とあいさつ。続いてあいさつに立った南野市長は、「市の財政も厳しいができる限り支援し、水揚げ高・漁価の向上に取り組んでいきます」と述べました。その後、初競りが始まり、この日水揚げされた鯛やヤズ、ブリなど約26トンが次々に競り落されました。



日置農高生徒と食生活推進員が交流

### 黒豆あんぱん広めよう!

1月8日(土)、日置農業高等学校で、長門市食生活改善推進協議会と生徒の交流調理実習が開かれ、推進員と同校生活科学科の生徒ら約30人が参加しました。これは、正しい食習慣を身につけてもらうと、推進員から生徒へ食生活や料理のアドバイスをを行うと

ともに、黒豆あんぱんの作り方を生徒から推進員へ伝え、普及を図ろうと行われたものです。黒豆あんぱん作りが始まると、生徒はお手本を示しながら説明し、推進員はそれを見ながら一緒に生地をこねたり、あんこを詰めたりして完成させました。



長門市観光基本計画まとまる

### やさしさ奏でるまちへ!

12月22日(水)、第4回長門市観光戦略推進会議が長門市物産観光センターで開かれました。この会議は、昨年2月のながと地域再生戦略会議からの提言を受けて、観光振興事業の再構築とその体制作りの実現に向けた推進計画を策定するために設置されたもの

で、今回は、計画の最終案を取りまとめるために開かれました。会議の中では、計画の理念『日本の心「やさしさ」を奏でるまち 長門』の中の、「やさしさ」についての数値目標の定義が話し合わせられ、最終的に計画案は了承されました。



水産高校実習船「海友丸」出航式

### 47日間の航海がスタート

1月12日(水)、遠洋航海の実習船「海友丸」の出航式が県立水産高校体育館で行われました。遠洋航海実習に参加する生徒は同校専攻科本科生の1、2年生と福岡県立水産高校専攻科の1年生合わせて44名。出航後は航海実習やマグロはえ縄漁を体験しながら移動して2月7日にホノルルに

入港する予定です。実習生を代表して本科海洋技術科2年の土井和真さんが「仲間と協力し合って航海し、充実した実習になるよう頑張ります」と決意を述べました。出航式終了後、生徒や保護者など大勢の人に見送られる中、47日間の長い航海実習をスタートさせました。



▲ハワイに向けて出発する実習生たち

▼決意を述べる土井和真さん





長門市・下関市合同防災図上訓練

## 本番さながら連携を訓練

1月18日(火)、平成22年度長門市・下関市合同防災図上訓練がルネッサながとアリーナで開かれ、市職員や防災関係機関・団体など約100人が参加しました。今回は、市内で総雨量150ミリを超える雨が降ったことを想定して行われ、参加者は次々と提示される災

害状況に対して、解決策をグループで話し合ったり、関係機関とすばやく連携したりと本番さながらに取り組みました。訓練後、南野市長は「今日の訓練をもう一度しっかり検証し、万が一の時に対応できるようにしていきたい」とあいさつしました。

1月11日(火)、児童養護施設「俵山湯の家」にダンボール箱が4個届き、3箱には衣料品180点が、もう一つには飴などのお菓子約30袋が入っていました。中には「子どもたちが寒さに負けず幸せになれませうように」と書かれた手紙が添えられていました。



俵山湯の家へ支援品届く

## 寒さに負けず幸せになつて

通地区でどんど焼き

## 字が上手になりますように

1月15日(土)、通の和船倉庫前広場で毎年恒例のどんど焼きが行われ、地元住民や通保育園の園児ら約40人が参加。それぞれに持ち寄ったしめなわや書き初めを燃やし、今年の無病息災を祈りました。また、園児たちは、保育園で書いた書き初めを一斉に火

に投げ入れ、舞い上がる灰を見上げながら、字が上手になるように祈りました。この日は寒波の襲来でとても冷え込みましたが、会場では地元の婦人グループ「一三会」の皆さんにより温かいぜんざいがふるまわれ、参加者は笑顔で味わっていました。



仙崎海上保安部が人命救助で表彰

## 負傷した釣り人を救助

1月21日(金)、仙崎海上保安部は、人命救助の功績で三好利百合さん(仙崎)と妻の和江さんを表彰しました。三好さん夫妻は船で帰港中、磯場で左足を負傷して動けない釣り人を発見。小型の漁船に乗り換えて救助に向かい、大日比漁港まで搬送しました。



## アグリ中央に農水省局長賞

農事組合法人アグリ中央

ちょっと小耳に

長門市の農事組合法人アグリ中央が、平成22年度全国優良経営体表彰の法人経営体部門で農林水産省経営局長賞を受賞しました。この表彰は、意欲と能力のある農業者の経営発展を図るため、農林経営の改善や地域農業の振興・活性化に優れた功績をあげた人や、団体を表彰する制度で、今年で12回目となります。アグリ中央は平成18年に設立した法人で、三隅地区9集



▲賞状を受け取る山根代表

落の農家で構成。組合員は約80人で、「地域の農地を守り、農家の過剰投資を防ぐとともに、幼児から高齢者まで、この地に生まれ育つて良かったと思われような地域づくりを目指す」という経営理念のもと、稲作や大豆栽培を経営の柱に、園芸部門や農産物加工・直売部門、畜産部門など多角経営による安定化を図っています。

12月16日(木)、三隅の中村コミュニティセンターで伝達式が行われ、県や市の関係者ら約30人が出席しました。式では、中国四国農政局担い手育成課の上村和憲課長から、アグリ中央の山根邦夫代表に表彰状が手渡されました。



社明作文コンテストで連合会長賞

## 相手を思いやることが大切

1月13日(木)、第60回「社会を明るくする運動」作文コンテストで山口保護司会連合会長賞を受賞した、向津具小学校6年生の三浦仁子さんへの賞状伝達式が同校校長室で行われました。

三浦さんは、相手の立場を考え、みんなが思いやりを



長門カップ小学生バレーボール大会  
レベルアップと交流を  
1月10日(月)、第1回長門カップ小学生バレーボール大会がルネッサながとアリーナほか市内の会場で行われました。第1回目の大会には、市内外から32チームが参加しました。試合はA級からD級までの4つのグループに分かれてのトーナメント制で行われ、選手たちは日頃の練習の成果を発揮しようと大きな声を掛け合いながらはつらつとプレーしていました。結果は次のとおりです。

れ、選手たちは日頃の練習の成果を発揮しようと大きな声を掛け合いながらはつらつとプレーしていました。結果は次のとおりです。  
A級優勝 牟礼 準優勝 厚狭  
B級優勝 高泊 準優勝 菊川  
C級優勝 油谷 準優勝 秋吉  
D級優勝 日置 準優勝 大嶺

平成22年度 全国優良経営体表彰の伝達式



伝達式を終えた後の記念撮影